

平成30年10月2日(火) 8:25~
ダイムスタジアム伊勢

第66回JABA伊勢・松阪大会
Aブロック 2回戦

VS

パナソニック

初回、2回と1人の走者を出すこともできなかった打線は3回、2死から9番・木田が2塁打、1番・新城が四球でチャンスメイクするが2番・井村が外野フライに倒れ先制点をあげることができない。

4回は3番・小川が、5回は9番・木田が、6回は4番・大野がそれぞれヒットを放つが後続が続かず無得点のまま試合は終盤に向かっていく。

8回、1死から1番・新城のヒット、2番・井村の送りバント、3番・小川の敬遠で2死1、2塁とこの試合2度目の先制のチャンスを迎えるが、4番・大野が三振に倒れこの回も無得点に終わる。先制された直後の9回も力なく三者凡退に終わり0-2で完封負けを喫した。

【試合経過】

チーム名	イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
明治安田生命	安打	0	0	1	1	1	1	0	1	0	5
	得点	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パナソニック	安打	0	0	0	0	0	0	0	2	X	2
	安打	2	0	0	0	1	0	0	2		5

先発の上田は初回、2本のヒットと四球で2死満塁のピンチを招くが、続くバッターを三振に打ち取って無失点で立ち上がる。その後は2回から4回まで三者凡退が続き安定したピッチングを見せる。

先発の上田は5回に先頭打者にこの日3本目のヒットを許すが後続を打ち取ってこの回も無失点。6回・7回も三者凡退に打ち取って味方の援護を待つ。

8回、前の回まで無失点と好投の上田に代えて鈴木が2番手として登板するとわずか2球で1死2塁のピンチを作り、続くバッターに先制のタイムリー2塁打を打たれ、継投策が裏目に出る。さらに3番手・小林も1死も取れず4番手・三宮に代わると、その三宮が犠牲フライを打たれてこの回2点を先制される。

各選手成績は下段の表をご確認ください。

【打撃成績】

打順	守備	選手名	所属	打席	打数	安打					打点	盗塁	犠打	四死	打率
						計	単	二塁	三塁	本塁					
1	4	新城	新宿支社	4	3	1	1							1	0.333
2	9	井村	新宿支社	4	3	0							1		0.000
3	DH	小川	町田支社	4	3	1	1							1	0.333
	R→DH	手鏡	総合法人第三部	0	0	0									#DIV/0!
4	3	大野	池袋支社	4	4	1	1								0.250
5	2	道端	丸の内支社	4	4	0									0.000
6	7	竹内	町田支社	4	4	0									0.000
7	8	泉澤	武蔵野支社	3	3	0									0.000
	H	宮川	上野支社	1	1	0									0.000
8	6	吉田	総合法人第五部	3	3	0									0.000
9	5	木田	所沢支社	3	3	2	1	1							0.667
計				34	31	5	4	1	0	0	0	0	1	2	0.161

【投手成績】

登板	選手名	所属	勝敗	回数	打者	球数	安打	三振	四死	失点	自責	防御率
先発	上田	東京マーケット開発部		7	25	123	3	5	1	0	0	0.00
2番手	鈴木	千代田支社	×	1/3	3	7	2	0	0	2	2	54.00
3番手	小林	上野支社		0/3	2	8	0	0	2	0	0	0.00
4番手	三宮	横浜支社		2/3	2	6	0	0	0	0	0	0.00
計				8	32	•	5	5	3	2	2	2.25